

総計	研究生	選科	特別学生 小計	本科小計	師範科		建築科	工			科								
					特別学生	本科		漆工部	鍍金部	鍛金部	彫金部	圖案部							
一五三二二二一八五一七九			一	一五二二〇四一八五二七八	一	一八	一〇	一〇	六	五	七	一九	二二	一五	二四	七〇	一	五六	五六
		三	五			二二	二二	一六	七	二	六	二	二	二	二	三			
						二四	一七	一〇	一〇	六	六	六	三	三	三				
			一			二五	二六	九	一〇	二	七	七	三	三	五				
						七〇	四	五	六	三	三	三	三	三	五				
						一													
	五六							二	三	四	六	五	五	五	九				
	五六							五二	四二	二二	三五	九一							
	五六		七			七九〇	一	九〇	八〇										

⑩ 卒業

昭和二十二年九月三十日、左記の生徒が卒業した。

日本画科  
中川 一郎  
新井 宏侍  
油画科  
中神 潔  
日和田 利正

森田 信夫  
工芸科圖案部  
石川 進  
吉田 左源二  
工芸科鍍金部  
岸 武

⑪ 研究科廃止

昭和二十二年九月三十日、研究科が廃止（二月十八日）されたため、在籍者五十六名（油画二十名、塑造九名、木彫六名、圖案五名、彫金六名、鍛金四名、鍍金三名、漆工二名、日本画一名）が修了とされた。

⑫ 学校の現状

昭和二十三年春、文部省行政監察委員会は「国民全体の奉仕者たる官吏の積極的活動を促し、真に国民の要望する民主的能率的新官吏道を確立する」ために文部省直轄部局等の行政監察を実施することになり、本校もその通達を受けて報告書を提出した。その控えに昭和二十二年現在の概況が記されているのでここに転載する。

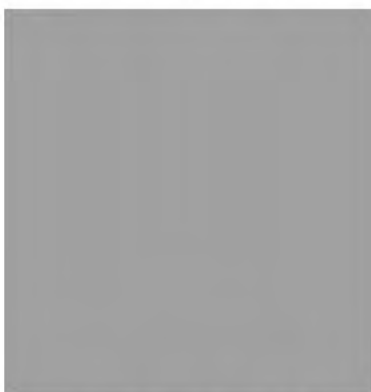
昭和二十三年二月十日

学校長

文部省行政監察委員会あて  
部局の自主的監察報告

首題に就ては文監三九号を以て報告方御通達に依り別紙の通り報告致します

一、監察組織



油画科教室にて（仁田三夫氏撮影）